

## 第2学年3組 学級活動（1）指導案

1. 日時・場所 平成26年12月3日（水）13：35～ 2年3組教室
2. 議題 「きょう力して、みんなで何か一つのものをつくる会をしよう。」

議題について

（学級の実態）

男子10名、女子15名、計25名の学級である。明るく素直な児童が多く、楽しく学校生活を送っている。週1回、朝の時間で10分間の係活動を行い、協力して取り組んでいる姿が見られる。

学級目標

いつも力を合わせ いつもえがおでたのしく  
だれにでもやさしいクラス

る。

学級目標を意識して生活できるよう、朝の会では声を揃えて学級目標を合言葉として読んできた。また、夏休み明けの際、学級目標を身振りをつけて覚えたら、さらに意識できるのではないかと動作をつける取り組みも行った。「だれにでもやさしい」という合言葉をもとに「ふわふわ言葉」が出た際は掲示物（ふわふわ言葉風船）を増やすなどで、目に見える形にした。係活動だけではなく、学習の中でグループ活動を多く取り入れることにより、力を合わせて活動する姿が増えてきた。

（これまでの学級会の姿）

これまで、前期に6回、後期に1回の合計7回の学級会を実施してきた。まず、学級会のやり方を学んだ。1回目の学級会の前に、学級会の流れや活動内容・仕事分担が分かる学級会グッズを見せながら進め方を担任が説明した。学級会グッズを見せることにより、安心感が芽生え、楽しそうと目を輝かせている児童も見られた。そのことにより、司会グループの役割分担では、「司会をやりたい。」「黒板の準備をしたい。」「心ほぐし活動は何をしようか。」など積極的に取り組む姿も見られた。司会グループとして中心になって活動できる喜びや決まったことが実践できる喜びを実感していた。

	議題	児童の経験（○話し合い活動 ●実践活動）	次回の学級会で子どもにつけたい力
第1回	学級目標に入りたい言葉を決めよう。	○学級会の進め方を知る。 ○ふりかえりカードを書く。	・理由をふまえて思いがもてるようにする。
議題の提案の仕方を知り、やってみたいことを書いて、議題箱に入れてみる活動を全員で取り組む。			
第2回	4.5.6月のお誕生日集会をしよう。	○理由をふまえて意見を言う。 集会内容：ハンカチ落とし、フルーツバスケット じゃんけん列車 ●2年3組の初めての集会を行う。	・不安が残る意見に対して、解決策をもてるようにする。
第3回	みんなでなかよくなれる集会をしよう。	○不安が残る意見の解決策を考えることができた。 ○柱2まで話し合う学級会を行った。	・不安が残る意見の解決策を聞き、折り合いがつけられるようにする。

		<p>柱1：集会で何をするか。</p> <p>柱2：みんなが楽しめるような工夫は何か。</p> <p>集会内容：ドッチビー、氷鬼</p> <p>●2年生になって外での集会を初めて行う。</p> <p>●ゲームのルールでもめることなく集会を行うことができる。</p>	<p>・時間を意識して、学級会を取り組むようにする。</p>
第4回	〇〇君（体験入学児童）の歓迎会をしよう。	<p>○柱2まで話し合う学級会を行う。</p> <p>柱1：歓迎会で何をするか。</p> <p>柱2：〇〇君が喜び、みんなも楽しめる工夫は何か。</p> <p>○不安が残る意見の解決策を聞いて、譲るという折り合いをつけられる。</p> <p>集会内容：あくしゅ大作戦、だるまさんの1日</p> <p>●体験入学児童の子にやさしく声をかけ、学級目標を意識して取り組んでいる。</p>	<p>・時間を意識して、学級会を取り組むようにする。</p>
第5回	7.8月のお誕生日集会をしよう。	<p>○柱2まで話し合う学級会を行う。</p> <p>柱1：何をするか</p> <p>柱2：みんなが楽しめるための工夫は何か。</p> <p>○前回の学級会より、時間に意識をもって話合い活動を行う。</p> <p>集会内容：だるまさんの1日、じゃんけん列車</p> <p>●夏休み前のことを思い出して、ゲームのルールでもめることなく集会を行うことができる。</p>	<p>・めあてに沿った思いをもてるようにする。</p> <p>・友だちの意見を聞いて、自分の思いを変えられることを知る。</p>
第6回	力を合わせ、笑顔で楽しく、誰にでもやさしくなる集会をしよう。	<p>○柱2まで話し合う学級会を行う。</p> <p>柱1：何をするか</p> <p>柱2：学級目標に合うようにどんな工夫をするか。</p> <p>○遊びの工夫についてたくさん考える。</p> <p>○第5回の学級会よりさらに時間を意識して話合いをする。</p> <p>集会内容：ドッジビー、王様ドッジボール</p> <p>●学級目標の「誰にでもやさしくなる」を意識して集会に取り組んでいる。</p>	<p>・友だちの意見を聞いて、自分の思いを変えられることを知る。</p> <p>・めあてに沿った思いをもてるようにする。</p>
第7回	9.10月のお誕生日集会をしよう。	<p>○めあてに沿った思いをもっている。</p> <p>○友だちの意見を聞いて、自分の思いを変える発言が行う。</p> <p>○工夫も考えて、何をするかを話し合う</p> <p>集会内容：落ち葉宝探し、折り紙キャンディー交換</p>	<p>・めあてに沿った意見が発言できている友だちを見つけられるようにする。</p> <p>・いい考えをすり合わせて新しい考えを生み出せる</p>

		●身近なもので作って集会に参加することにより、つくるものでも楽しめることを知る。	ことができるようにする。
--	--	--	--------------

(本時に期待する態度)

これまでの集会の振り返りで、「楽しかった。」「ボールをゆずってくれて、やさしかった。」「みんながにこにこしていた。」という感想が出てきた。その一方で、「次の活動でよくしたいことは何ですか。」という項目では、『力を合わせ』という学級目標にもっと近づきたい。」という意見も多かった。これは、話し合い活動で「だれにでもやさしくすることで力を合わせられる。」という理由の発言により学級目標に近づけると思っていた。しかし、実際に集会をしてみると、誰にでも優しくすることが『力を合わせ』につながるわけではないと感じていたと考えられる。そこで、力を合わせることにつながるよう「〇〇をやりたい。」という項目だけだった提案カードに「みんなでつくってみたい。」「みんなでかいてほしい。」という項目も取り入れた。その結果、「みんなで何かをつくってみたい。」という提案が集まり、本議題を選定した。今回の集会では、みんなで何か一つのことを成し遂げた時の達成感や協力する楽しさを味わうことを目指していく。

また、話し合い活動後の振り返りカードでは、「自分もみんなもよい活動を考えることができましたか。」という項目で、「あまりできなかった」という箇所に印をつける児童が数名いた。個々に理由を聞いてみると、「〇〇には賛成できるけど、△△には少し納得ができないから。」と答える児童がいた。これは、不安が残る意見に対して解決策を考え、その解決策を聞いて、「心配は解決できた。」と譲ることで話し合いを進めることができていた。集団の話し合い活動の中で、全員が納得することは難しく、納得が少しできないながらも折り合いをつけて共に活動をしてきた。しかし、少し納得ができないのは、自分の意見が採用されていないからではないかと考えられる。そこで、いい意見をすり合わせて、新しい意見を生み出すことにより、少しでも自分の意見が認められていると満足感を味わわせながら話し合い活動を進めていく。


### 3. 評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
学級の身の回りの問題に関心を持ち、他の児童と協力して進んで集団活動に取り組もうとしている。	学級生活を楽しくするために話し合い、自己の役割や集団としてのよりよい方法などについて考え、判断し、仲良く助け合って実践している。	みんなで学級生活を楽しくすることの大切さや学級集団としての意見をまとめる話し合い活動の基本的な進め方などについて理解している。

### 4. 活動の実際

#### (1) 事前の活動

活動の場	活動内容	支援 (○) と評価 (☆)
11月12日(水) 朝の会	議題箱に思いが寄せられる。	☆学級生活に関心を持ち、学級を楽しくしようとしている。

		(集団活動や生活への関心・意欲・態度)
議題箱に寄せられた思い：「きょう力して、みんなで何かきれいなものをつくる会をしたい。」「作る会をしたい。」「みんなで作って、たのしく、え顔のしゅう会をしたい。」「みんなの顔を書いて、教室に飾る会をしたい。」		
11月12日(水) 中休み	司会グループと議題を選定する。 議題名 「きょう力して、みんなで何か一つのものをつくる会をしよう。」	○教師と一緒に次回の集会について寄せられた意見の中から選べるようにする。 ☆寄せられた議題案の中から議題を選ぼうとしている。(集団の一員としての思考・判断・実践)
11月12日(水) 帰りの会	司会グループが議題名を伝え、何をつくりたいかアンケートの実施を予告する。	☆みんなに伝わるように提案をしている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
11月13日(木) 朝の会	「きょう力して、みんなで何か一つのものをつくる会」で、何をつくりたいかアンケートをとる。(複数可)	○どんなものをつくってみたいかという提案なので、複数可であることを確認する。 ☆学級生活に関心を持ち、学級を楽しくしようとしている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度)
11月14日(金) 放課後	提案者から思いを聞き、共にめあてを考える。 めあて：「みんなできょう力して一つのもののできあがるようにするために、どんな工夫をしてつくるかを考えよう。」	○一人ひとりから思いを聞き、教師と一緒にめあてを考える。 ☆協力しながら集会をしているイメージをもっている。(集団の一員としての思考・判断・実践)
11月17日(月) 朝の会	司会グループ・提案者(計画委員)がめあてを伝え、前回の提案した「作りたいもの」の中から1つ選び、決定する。 決定：2年3組のシンボルマーク	☆みんなに伝わるように提案している。 (集団の一員としての思考・判断・実践) ☆学級生活に関心を持ち、学級を楽しくしようとしている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度)
11月17日(月) 帰りの会	計画委員が決定した作りたいものを伝え、シンボルマークを考える予告をする。	☆みんなに伝わるように提案している。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
11月18日(火) 朝の会	シンボルマークを決定する。  計画委員が、めあてに沿ってどんな工夫をして作るかを考え	☆学級生活に関心を持ち、学級を楽しくしようとしている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度) ☆みんなに伝わるように提案している。 (集団の一員としての思考・判断・実践)

	る予告をする。	
11月19日(水) 朝の会	めあてに沿って、自分の意見を学級会カードに書く。	☆めあてを意識した意見を考えている。  (集団の一員としての思考・判断・実践)
11月20日(木) 朝	司会グループで、みんなの学級カードを見て、話合いの流れを予想する。	○めあてに沿った意見かどうかを確認する。 ○意見を分類整理し、話合いの流れを確認する。 ☆教師と一緒に話合いの流れを簡単に予想している。(集団の一員としての思考・判断・実践)
11月20日(木) 中休み	司会グループで、話合い活動の進め方について確認し、気を付けることを考える。	○めくり台本を掲示し、話合いの流れをつかめるようにする。 ☆教師と一緒に話合いの順序などを考え、簡単な計画を立てている。  (集団の一員としての思考・判断・実践)
11月28日(金) 昼休み	司会グループの黒板担当と板書の確認をする。	○教師と一緒に板書の準備の確認をする。 ☆話合い活動の準備の仕方や基本的な進め方を理解している。  (集団活動や生活への知識・理解)
12月1日(月) ～3日(水) 中休み	司会グループによる学級会の進めの最終確認をする。	○前回、確認したことを想起させ、自分たちで練習できるようにする。 ☆話合い活動の準備の仕方や基本的な進め方を理解している。  (集団活動や生活への知識・理解)

## (2) 本時の活動

- ① ねらい みんなで協力して一つのものを作るために、どんな作り方の工夫をするかを決める。
- ② 活動計画

児童の活動	支援(○)と評価(☆)
1. はじめの言葉(進行司会)	○担任は、「サポート司会」という立場で話合いに参加し、助言・補足説明等、必要に応じて行う。
2. 司会グループの紹介	
3. 議題の確認(進行司会) 「きょう力して、みんなで何か一つのものをつくる会をしよう。」	
4. 提案理由の確認(提案者)	
5. 話合いのめあての確認(進行司会)	

「みんなできょう力して一つのもので  
きあがるようにするために、どんな工夫  
をしてつくるかを考えよう。」

6. 決まっていることの確認（進行司会）

7. 話し合い

8. 決まったことの確認（ノート記録）

9. ふりかえりタイム

10. みとめあいタイム

11. 先生の話

12. おわりの言葉（進行司会）

提案理由

僕たち・私たちは、「みんなでつくって協力したら、みんなと  
楽しく仲良くできる。」「みんなとつくって笑顔になれる。」「つ  
くって飾れば、教室がもっと学級目標に近づける。」「1年生の  
時、係で迷路を作って、つくるのがとても楽しかった。」と思っ  
て、提案しました。みんなで協力して、25人で何か一つのも  
のをつくれれば、学級目標に近づくとと思うので、「きょう力して、  
みんなで何か一つのものをつくる会」をしたいです。

○決まっていることは、黒板に掲示しておく。

決まっていることの確認

やる日・場所：12月11日（木）5時間目、教室

プログラム：1. はじめの言葉

2. 2年3組のシンボルマークをつくる。

3. 先生の話

4. おわりの言葉

○話し合いのめあてを意識しながら話し合ったり、決  
定したりできるようにする。

☆友だちの意見をよく聞きながら、自分の考えを伝  
えている。（集団の一員としての思考・判断・実践）

○今日の話合いのよかったところ、自分の思いをふ  
り返しカードに記入できるようにする。

○集会活動に向けた活動を意識できるようなふり返  
りが記入できるようにする。

☆話し合い活動や次回の集会活動に意欲をもっている  
（集団活動や生活への関心・意欲・態度）

○話し合いの中で見つけた友だちのよさを発表してい  
る。

☆めあてに沿った意見を言っている友だちに気づく  
ことができている。（集団の一員としての思考・判断・実践）

○司会グループの頑張っていた点、めあてを達成す  
るための意見など、児童の良かった点を賞賛し、次  
回の集会活動へとつながるようにする。

	☆司会グループとしての自分の役割を果たしている (集団活動や生活への関心・意欲・態度)
--	--

③ 板書計画

先生の話 みとめあいタイム ふりかえりタイム きまったこと	だいたい 8回 学級会 ぎだい きょう力して、みんなで何か一つのものをつくる会をしよう。 ていあんりゆう めあて みんなできょう力して一つのものできあがるようにするために、どんなくふうをしようか 話し合うこと つくり方のくふう ・クレヨンでぬる。 ・おり紙をおってはる。 ・おり紙をちぎってはる。 ・絵のぐで色をぬる。 ・どんぐりやおちばをはる。 ・一まいに絵をかくて、それをはりあわせる。	
朝の会	とを進めていくために役割分担をする。	は教師が補うようにする。 ☆必要な役割分担を考えている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
休み時間など	自分たちが決めたことを実践するために準備を進める。	○必要な材料や道具等があれば、教師が必要に応じて準備する。 ☆みんなで仲良く助け合って集会の準備をしようとしている。(集団の一員としての思考・判断・実践)
12月11日(木) 5時間目	「きょう力して、みんなで何か一つのものをつくる会」をする。活動を振り返り、次回への思いをもつ。	○安全に取り組めるように見守り、必要に応じて助言する。 ☆みんなで協力して活動することを楽しんでいる。 (集団の一員としての思考・判断・実践) ○次にどんなことをしたいか、よかったことはどんなところかを中心に発表するように助言する。 ☆活動に対する自分の取り組みや学級の取り組みの様子を振り返り、次にいかそうとしている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度)

5. 資料

**学級会ふりかえりカード (しかいグループ)**

名前 ( )

★今日の話し合い★  
 だいたい 国語きょうぎ 月 日 ( )  
 ぎだい  
 きょう力して、みんなで何か一つのものをつくる会をしよう。  
 話し合うめあて  
 みんなできょう力して一つのものできあがるために、どんなくふうのくふうをしようか。  
 自分の考え どんなくふうをしようか

ひょう

★話し合いのふりかえり★

	とても	まあ	さう	さう	さう
① 話し合いのめあてができたか。	5	4	3	2	1
② 自分の話し合いができたか。	5	4	3	2	1
③ 友だちの話し合いができたか。	5	4	3	2	1

(今日の話し合いのふりかえり)

(思ったとおりに書いて、みんなをがまんしてよりよく頑張ろう。)

**学級会ふりかえりカード**

名前 ( )

★今日の話し合い★  
 だいたい 国語きょうぎ 月 日 ( )  
 ぎだい  
 きょう力して、みんなで何か一つのものをつくる会をしよう。  
 話し合うめあて  
 みんなできょう力して一つのものできあがるために、どんなくふうのくふうをしようか。  
 自分の考え どんなくふうをしようか

ひょう

★話し合いのふりかえり★

	とても	まあ	さう	さう	さう
① 自分の考えを述べたか。	5	4	3	2	1
② 友だちの考えを聞いて聞いたか。	5	4	3	2	1
③ 自分の考えを分かってもらったか。	5	4	3	2	1
④ 自分もみんなの話し合いができたか。	5	4	3	2	1

(今日の話し合いのふりかえり)

(思ったとおりに書いて、みんなをがまんしてよりよく頑張ろう。)

